

ヒトの脳から10gのマイクロプラスチック

小さなバイアルに入れたヒトの脳の切片に、強アルカリを加えると脳が溶け始めます。何日かすると脳は強アルカリですっかり破壊され、何千もの微小なプラスチック粒子を含む汚い残渣（ざんさ）が生じます。ニューメキシコ大学研究では、提供されたヒトの脳から約10gのプラスチックを分離できると報告しています。

研究の結果、マイクロプラスチックは免疫細胞に貪食され、最終的には脳の細い血管に蓄積して閉塞を起こしてしまうことが分かりました。